



# 九電グループサステナビリティ報告書2020 ダイジェスト

SUSTAINABILITY REPORT 2020 DIGEST



# 経営理念「九電グループの思い」

ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」  
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。  
それが、私たち九電グループの思いです。

この思いの実現に向けて、私たちは次の4つに挑戦しつづけます。

地球にやさしい  
エネルギーを  
いつまでも、しっかりと

私たちは、お客さまに毎日の生活を安心して送っていただけるよう、エネルギーや環境に関する豊富な技術や経験をもとに、世の中の動きを先取りしながら、地球にやさしいエネルギーをいつまでも、しっかりとお届けしていきます。



九州とともに。  
そしてアジア、世界へ

私たちは、九州の皆さまとともに、子どもたちの未来や豊かな地域社会を考え、行動していきます。そして、その先に、アジアや世界をみます。



「なるほど」と  
実感していただくために

私たちは、お客さまの信頼を第一に、さまざまな声や思いをきっちりと受け止め、お客さまに楽しさや感動をもって「なるほど」と実感していただけるようなサービスでお応えしていきます。



語り合う中から、  
答えを見出し、行動を

私たちは、人間の持つ可能性を信じ、個性を尊重し合い、自由・活発に語り合う中から、明日につながる答えを見出し、行動していきます。



## 九電グループ経営ビジョン2030

2030年の  
ありたい姿

### 九州から未来を創る九電グループ

～豊かさと快適さで、お客さまの一番に～

戦略Ⅰ

エネルギーサービス事業の進化

低炭素で持続可能な社会の実現に挑戦し、より豊かで、より快適な生活をお届けします。

戦略Ⅱ

持続可能なコミュニティの共創

九州各県の地場企業として、新たな事業・サービスによる市場の創出を通じて、地域・社会とともに発展していきます。

戦略Ⅲ

経営基盤の強化

経営を支える基盤の強化を図り、九電グループ一体となって挑戦し、成長し続けます。

## 九電グループは、CSR経営を通じて 地域・社会の課題解決に取り組み、 「持続可能な社会の実現」に貢献します。



九州電力株式会社 代表取締役 社長執行役員 **池辺 和弘**

九電グループは、「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランドメッセージとする「九電グループの思い」のもと、低廉で良質なエネルギーをお客さまへ安定してお届けすることを通じて、お客さまの生活や経済活動を支え、九州とともに成長してきました。

一方、国内外では経済・社会・環境面での社会的課題が多様化・複雑化し、その解決に向けた企業への期待も大きくなっています。

こうした中、九電グループがどのような貢献ができるかを示し、地域とともに発展・成長していくという私たちの姿勢を発信するため、昨年6月に「九電グループ経営ビジョン2030」を策定し、現在、このビジョンの実現に向けた取組みを推進しているところです。

これらの取組みを、社会的課題の着実な解決に繋げていくためには、これまで以上にステークホルダーの皆さまからの期待・要請をしっかりと受けとめ、CSR経営を充実させていくことが重要と考えています。

### CSR経営の充実にあたって

近年、国際社会全体の持続可能な開発目標として国連で採択されたSDGsや、企業の環境等への配慮を評価するESG投資など、地球規模で「持続可能な社会の実現」に向けた取組みへの期待が高まっています。

国内においては、気候変動による災害の多発化・甚大化や、人口減少等の進展による地域の衰退など、様々な課題が深刻化しつつあります。また、至近では新型コロナウイルス

の感染拡大により多方面に甚大な影響が生じています。

このような経営環境の変化も踏まえ、九電グループはSDGsなどから幅広く抽出した社会的課題のうち、ステークホルダーの皆さまからの期待・要請を最優先に考えた「豊かな地球を守る」「皆さまの暮らし・経済を支える」「地域社会を元気にする」等を柱とするCSRの重要課題の解決に向けて、グループの強みを活かした取組みを充実させていきます。

### 「持続可能な社会の実現」を目指して

今後も、九電グループは「九州の発展なくして、九電グループの発展なし」という思いを共有して、地域の皆さまと一緒に汗をかき、知恵を絞りながら、様々な課題の解決に積極的にチャレンジしていきます。

皆さまに満足いただける価値を提供し、地域社会や皆さまの暮らしの発展に貢献することで、九電グループも成長し、また新たな価値を創造するという好循環が生まれるよう、取組みの更なる充実を図っていきます。

本年4月に当社の送配電部門が新たに「九州電力送配電株式会社」として分社しましたが、これからも九電グループ一体となって、地域の皆さまと一緒に「九州から未来を創る」ことで、「持続可能な社会の実現」に貢献してまいります。

2020年6月

※SDGs(Sustainable Development Goals)：2015年に国連サミットで採択された、国際社会全体の「持続可能な開発目標」であり、2030年を期限とする17の目標で構成

持続可能な社会の実現に向けた、

# 九電グループのCSR取組み

九電グループは、CSR取組みを通じて地域とともに成長し続けます。



生活者への  
提供価値

事業価値

地域とともに  
成長し続ける  
九電グループ

低炭素社会の実現  
〔災害発生・被害の減少〕



快適で豊かな  
生活の実現



持続可能な  
コミュニティの創造



需要・サービス機会の増大  
災害対応コストの減少



地域社会・  
暮らしの発展



持続的成長

収益拡大  
持続可能な  
社会づくりの  
資本増大



事業活動の充実



信頼とグループブランドの向上

CSR取組みのさらなる充実

ずっと先まで、明るくしたい。(持続可能な社会の実現)

	CSR重要課題	主な取組み	主なSDGs
	<b>気候変動リスクを低減し、豊かな地球を守ります。</b>		
	CO <sub>2</sub> 排出量の抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギーや原子力の活用などを通じた電源の低・脱炭素化</li> </ul>	
	再生可能エネルギーの開発・受入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>オール電化やEVの普及を通じた電化の推進</li> </ul>	
	生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域と一体となった環境保全活動、環境教育などを通じた環境意識の啓発</li> </ul>	
	<b>エネルギー・インフラで、皆さまの暮らし・経済を支えます。</b>		
	電力の安定供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子力発電の安全性・信頼性向上</li> </ul>	
	原子力発電所の安全・安定運転	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続的な安定供給に向けた設備の形成</li> <li>災害時の被害を低減する地域レジリエンス(強靱性)の向上</li> </ul>	
	安全で強靱なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さまのニーズ・課題を踏まえた商品・サービスの提供</li> </ul>	
お客さまのニーズ・課題を踏まえたエネルギーサービス			
	<b>地域の皆さまとともに、地域社会を元気にします。</b>		
	地場産業の振興と雇用創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>地場産業の活用や交流人口の拡大などを通じた地域の活性化</li> </ul>	
	九州地域の交流人口の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域と一体となった次世代育成の支援、お年寄りにもやさしい社会づくり</li> </ul>	
	お年寄りや子どもにもやさしい社会への貢献		
	<b>従業員のチャレンジを促し、組織基盤を強化します。</b>		
	イノベーションの創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>九電グループ全体でのイノベーションの推進</li> </ul>	
	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>性別・年齢・国籍などを問わず多様な人材の活躍を促すダイバーシティの推進</li> </ul>	
	働きやすい職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革などを通じた働きがいのある職場づくり</li> </ul>	
コーポレート・ガバナンスの実効性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ全体のコンプライアンス経営の徹底</li> </ul>		

# 九州電力(株)の概要 [2020年3月31日現在]

※九州電力送配電(株)が2020年4月1日に  
分社する前の数値を記載

設立年月日	1951年5月1日
資本金	2,373億円
株主数	普通株式 143,054名 A種優先株式 3名
売上高	18,180億円
総資産額	44,336億円
従業員数	12,829名

## 電力供給設備 [2020年3月31日現在]

※九州電力送配電(株)の設備(2020年4月1日以降)は  
青字で記載

水力発電	本島 138か所 357.6万kW 離島 5か所 0.4万kW
火力発電	7か所 958.5万kW 6か所 20.8万kW
内燃力発電	32か所 40.0万kW
原子力発電	2か所 414.0万kW
風力発電	1か所 0.03万kW

発電設備合計(\*) 191か所 1,791.3万kW

送電線路こう長 10,900km

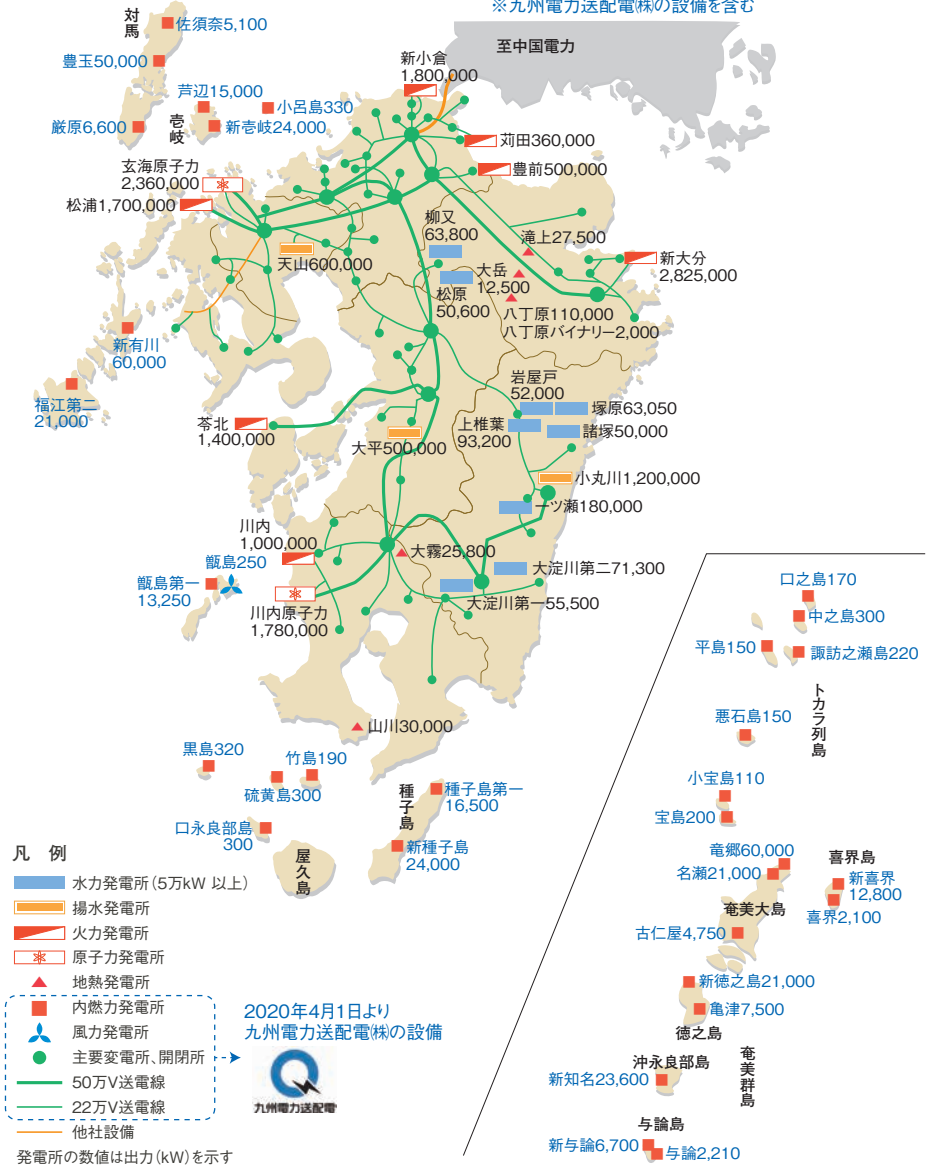
配電線路こう長 142,832km

変電所 604か所 7,529.5万kVA

(\*) 端数処理により合計値が合わない場合がある

## 〔電力供給設備の配置図〕

※九州電力送配電(株)の設備を含む



## サステナビリティ報告書



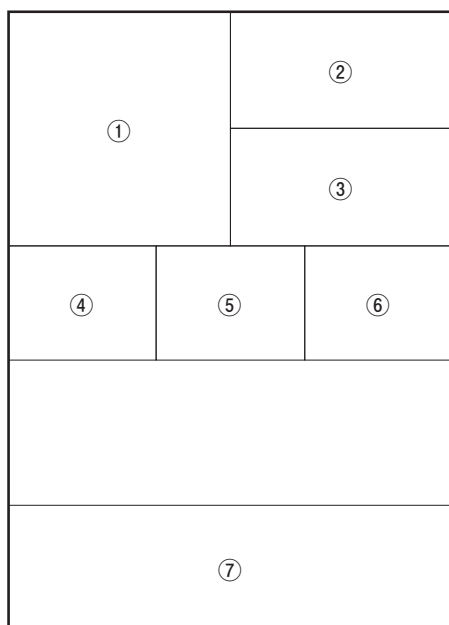
- CSRの取組み全般を九州電力(株)ホームページで詳細にご紹介しています

九州電力CSR

検索



## 表紙について



- ① 佐賀国際バルーンフェスタ競技中の巡視  
〔九州電力(株)<sup>(\*)</sup> / 佐賀県佐賀市〕  
(<sup>\*</sup>)2020年4月1日より、送電線巡視は、九州電力送配電(株)にて実施
- ② オールデンカー(オール電化実演車)と子どもたち  
〔九州電力(株)〕
- ③ くじゅう九電の森での環境教育  
〔九電みらい財団 / 大分県由布市〕
- ④ サルーラ地熱発電所  
〔(株)キューデン・インターナショナル / インドネシア〕
- ⑤ 働く社員の様子  
〔九州電力(株)〕
- ⑥ 平治岳山頂から(九電みらい財団第3回Instagram  
フォトコンテスト金賞受賞作品) 〔大分県竹田市〕
- ⑦ 油山からの夜景(九電グループ公式Instagramに掲載)  
〔福岡県福岡市〕

- 九電グループ公式Instagramでは、「九州の夜景・灯りのある風景」「九州の自然・風景・まつり」「電気が生まれる・繋がる風景」をテーマとした写真をお届けしています。

九電グループ  
公式Instagram  
ページはこちら



- 九電みらい財団公式Instagramでは、活動時に撮影した写真や、フォトコンテストの応募作品などをご紹介します。

九電みらい財団  
公式Instagram  
ページはこちら



### 配布事業所



■CSRの取組みに関するご意見・お問合せ先  
九州電力株式会社 ビジネスソリューション統括本部  
地域共生本部 CSR・総括グループ  
〒810-8720 福岡市中央区渡辺通2-1-82  
TEL:092-726-1596 FAX:092-711-0357  
E-mail:CSR@kyuden.co.jp